

りんご



放送大学青森学習センター・八戸サテライトスペース

令和5年1月発行



11月19日公開講演会より

10月29日公開講演会より



12月4日公開講演会より

特集

Web単位認定試験 2023-1面接授業

客員教員退任のご挨拶

- 2 | 巻頭言『りんごの「重み」』成田 拓未 先生
- 3 | “Professional Report” 今井 正浩 先生
- 4 | 客員教員退任のご挨拶
- 5 | 公開講演会レポート 〈むつ市・つがる市・青森SC〉
学生レポート 〈アップルマラソン〉

- 6 | 2022-2単位認定試験について
- 8 | 2023-1面接授業について
- 10 | 次学期へむけての手続き
- 11 | 1・2・3・4月のスケジュール
- 12 | 事務室からのお知らせ



あけましておめでとうございます
今年も宜しくお願い申し上げます



巻頭言

-かんとうげん-

りんごの「重み」

青森学習センター客員教員

成田 拓未



読者の皆さんは、りんご箱を持ち上げたことはあるでしょうか。

親戚、友人などから宅配便で届いたりんご箱ならば、比較的多くの方が手にしたことがあるのではないのでしょうか。今日、一般的にはそのようなりんご箱は、ダンボールでできており、容量は大きくても10kgです。核家族化、単身世帯の増加が一層進む昨今、10kgでは多すぎるので、5kgや3kgといった小さめの箱が用いられることもあります。

しかし、今回の主題はそれとは異なります。りんご農家が、収穫直後のりんごを保管、輸送するために用いるりんご箱です。そうしたりんご箱は、「原箱（げんばこ）」とか「コンテナ」とか、あるいはまたその材質に基づいて「木箱（きばこ）」とか「プラコン（プラスチックコンテナ）」とか呼ばれます。容量は、概ね20kg（ないしは18kg）です。同じりんごでも、サイズの大きなものを詰めるのと、小さなものを詰めるのとでは実質的な容量は異なります。



前者は隙間が多くできるので20kgも入りませんが、後者は隙間が比較的少なくぎっちり詰め込めるので20kgを上回ることもあります。

青森県のりんご農家の平均栽培面積1.2ha（農林業センサスより推計、2020年の値）、りんごの単収2,350kg/10a（農林水産省「果樹生産出荷統計」より、2020年の値）から推計すると、りんご農家の平均的なりんごの収穫箱数は20kg/箱換算で1,350箱に上ります。

りんごの収穫作業は主に9月から11月にかけて行われますが、品種ごとの収穫適期を逃さず収穫するために、一時的に多くの労働力を要します。そのため、家族に加えて臨時雇いによって収穫作業が行われます。りんごの樹に成った実を一つ一つ手作業で摘み取り、手籠に収容し、一杯になると運搬車に載せ、圃場の一角に設置した荒選果場に移動し、手籠をおろします。荒選果「場」というと建物や施設、そこでの作業を想起させるかもしれませんが、青空のもと圃場の一角に畳1枚程度の広さの臨時的作業台を広げて、その上で手籠からりんごを取り出し、大きさ別や色のよし悪し別に大まかな選別（＝選果）をします。選別後のりんごはいよいよ20kgのりんご箱に収容されます。その後、農協や卸売市場へ輸送しなければならないのですが、そのためにトラックに一箱一箱手作業で積み込まなければなりません。腰の高さかそれ以上の高さに積み上げていく作業は重労働です。筆者が農家を対象に実施したアンケートによれば、73%の農家で積み込み作業の担い手が経営主（すべて男性）でした。更に、輸送先でも一箱一箱荷降ろしのための手作業が必要になります。フォークリフトを利用すれば、一定の労力を軽減できますが、パレットに積み上げる作業はやはり手作業によるほかありません。

目下、一部ではありますが15kgの容量の箱を利用することが試みられています。女性でも積み下ろしがしやすいと好評とのこと。様々な職種で労働力の不足が懸念される中、農業の様々な作業が誰にでも担えるものにどう変えていくことができるか、問われています。

Professional Report

西洋古典学の研究対象としての西洋古代医学（1）

客員教員 **今井 正浩**

（弘前大学人文社会科学部・人文社会科学研究科教授）

わたしの専門は、西洋古典学（英語では Classical Studies）です。

西洋古典学というのは「西洋の古典を研究する学問」のことです。もう少し具体的に説明しますと「古代ギリシア・ローマ時代の歴史・社会・文化について、古典ギリシア語・ラテン語の原典を通して、深く掘り下げて研究する学問」ということになります。

古代ギリシア・ローマ時代の文化は、ユダヤ・キリスト教文化と並んで、ヨーロッパの歴史において、その礎（いしずえ）にあるとされる西洋古典古代（Classical Antiquity）という時代を特徴づける主要な潮流の一つということになります。

西洋古典学の分野では、古代ギリシア・ローマ時代の叙事詩・抒情詩、悲劇・喜劇等の文学作品や歴史文献、ソクラテス、プラトン、アリストテレスの哲学、ストア派等の古代の哲学諸派の哲学の研究が主流を占めます。

そのような状況の中で、西洋古典学の研究者として、わたしが長年にわたって研究の対象としてきたのは、古代ギリシア・ローマ時代の医学です。「医学の父」として西洋医学史に登場するヒッポクラテス（c.460-c.375 BC）の研究にはじまって、エジプトのアレクサンドリアを拠点として活動したヘレニズム期の医学者たちについての研究をへて、現在は、西洋古典古代後期の医学を主導するとともに、後世の医学に絶大な影響をおよぼしたとされる、ローマ帝政期の医学者ガレノス（129-c.216）の研究を進めているところです。

このような話をすると「そんなことは、医学史の専門家たちに任せておけばいい」といった声を聞くこともあります。大学院生の頃、古代ギリシア医学の研究に本格的に着手しようと考えていた時に「そんな異端ではなく、オーソドックスなテーマを選んだ方がいいよ」と、ある先生から大真面目にアドバイスされた（汗）こともあります。

わたし自身は、西洋古代医学というのは、西洋古典学研究において、とてもオーソドックスな研究対象の一つであると考えています。西洋古代医学も、西洋古典古代の歴史的発展の中で学問としての地位を確立していったという事実を照らしてみると、このような考え方は理に適っているのではないのでしょうか。

今回は、西洋古典学研究の一環として、西洋古代医学の研究を進めていくことの意義や醍醐味等についてお話をさせていただきたいと思います。

“Professional Report”は、青森学習センターと八戸サテライトスペースの客員教員が、専門分野について2回ずつ連載していくコーナーです。

★今井正浩先生は、青森学習センターでゼミを開講しております。途中からでも大丈夫ですので、ぜひご参加ください。

★今井先生ゼミの予定

ギリシア悲劇入門ーソポクレス『オイディプス王』を読む
1/10(火) 1/31(火) 2/14(火) 2/28(火)

※スケジュール変更の場合がありますので、事前に青森学習センターへお問合せください。

客員教員退任のご挨拶 ～2022年度末で退任される先生方より～

教育・研究スタイルを変えたコロナ感染

青森学習センター客員教員 若生 豊
(八戸サテライトスペース担当)



2019年4月より八戸サテライトスペースにおいて、学習相談とゼミナールを担当してまいりました。ゼミナール実施に当たっては受講者の協力と皆様のご支援により何とか務めることが出来、関係の皆様には厚く感謝申し上げます。

さて、2019年の年末に武漢で発生した新型コロナウイルスは、瞬く間に世界中に感染を広げ、大学の多くは授業をリモートで対応せざるを得ない状況となりました。放送大学は元来、遠隔授業により知識・能力を積む学習スタイルであるため、このような禍に対し、その教育方法は強みを発揮しましたが、直接顔を会わせる貴重な機会となる対面授業が中止となる事態にも追込まれました。研究においては学会の研究集会・会議等が軒並みリモート形式となり、私もリモートでの発表などを経験し、それなりに目的が達せられるものと実感しました。感染が落ち着いても、研究集会等がハイブリットで開催されることが多く、遠隔地でも出張する必要もなく気軽に出席できるようになり、時間と費用も節約出来るなどの合理的な側面もあります。放送大学では授業がネット配信され、単位認定試験もオンラインとなりましたが、出席確認方法等の技術的問題はありますが、対面授業やゼミナールにもハイブリット開催を拡大できれば、上記の便利さや経済性の享受もさることながら、地域を超えた多様な講義等を広く提供でき、教育資源の有効利用になるものと思われれます。私のゼミナールへの参加状況は振るいませんでしたが、ハイブリットを取り入れることによりゼミナールもより活発になるのではと思われれます。

退任のご挨拶

青森学習センター客員教員 藤田 あけみ



客員教員として2018年4月に就任し、早いものでもう5年になるのだと感慨深いものを感じております。放送大学のことはもちろん知っていましたが、初めの頃は客員教員として自分に務まるのか、どのようなことをするといったのか、不安の中での客員教員生活が始まりました。「こうするといいよ」「こんな感じでやっているよ」とゼミ生の皆様に教えていただきながら、進めておりました。本当に助けていただいたという感じです。ゼミは「コーチング」に関する書籍を読み進み、ディスカッションをするというものでした。

少し慣れてくるとゼミでは、様々な社会情勢に関連して各々が感じたことや考えなどをフリーディスカッションすることもありました。ゼミ生の皆さんは長い人生経験や放送大学で培われた幅広い知識を持っており、私自身が知らないことを話してくれるので、脱線はしていましたが勉強になっていました。

しかし、2020年4月から新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、約半年間ゼミも休講となり、ゼミ生の皆様とは会えなくなり寂しいと感じた反面、時間的に余裕がない自分がいたことを覚えています。

退任を迎えるにあたり振り返ってみると色々ありましたが、楽しく私自身も多くのことを学ばせていただきました。特に、人との出会いを大切に、相手を尊重して対応することの重要性を改めて学びました。「生涯学び」と思っています。学ぶことで自分の心も豊かになる、心に余裕が出てくる、さらに相手を尊重することができる。自ら好循環にして生きていきたいと思っています。いつか定年を迎えたら放送大学で学びたいと思っています。5年間、本当にありがとうございました。

●● 公開講演会レポート ●●

10～12月に開催された公開講演会の様子を写真とレポートでご紹介いたします

10/29
(土)

近世の廻船 -「北前船」をめぐる 諸問題と盛岡藩領における廻船の建造動向-

講師◆石山 晃子 氏 (青森大学客員教授)
会場◆下北文化会館大集会室



告知ポスター

近年、広くその名が知られるようになった「北前船」については、歴史資料にはほとんど出てこないことから、一般的に千石船に代表される弁財船等の廻船の中で、北国地方を運航した船の総称ではないかと考えられており、その定義は未だ議論が続いているとのこと。また、下北地域での造船については、豊かな森林資源や運搬手段等から、建造や修繕が行われていたことが記録に残っており、注目されることのお話であった。

11/19
(土)

コロナ禍を乗り切るために -感染対策の基本と腸内環境が作る免疫力-

講師◆藤田 あけみ 氏
(弘前大学大学院保健学研究科教授・青森学習センター客員教員)
会場◆つがる市立図書館



告知ポスター

「ヒトからヒトへうつる」感染症が成立する場所と症状を説明しながら、その過程での予防策と免疫力増強の重要性を指摘する内容をお話いただきました。正しい手指消毒の方法やマスクの着脱法、腸の免疫力を高めるのに有効な市販されているプロバイオティクス商品の紹介を織り交ぜた講演が楽しく、とても短く感じました。

12/4
(日)

ベートーヴェンの ピアノ・ソナタと共に

講演・演奏◆浅野 清
(青森学習センター所長・弘前大学名誉教授)
会場◆弘前大学創立50周年記念会館みちのくホール



告知ポスター

講師のピアノとの出会いから、ピアノやベートーヴェンとの関り方の変遷を紹介しながら、ベートーヴェンのピアノ・ソナタの名曲3曲を演奏しました。当日は、予定した定員を遥かに超える参加があり、素晴らしい音楽の世界に引き込まれていました。

～演奏曲目～ ピアノ・ソナタ第8番 八短調 作品13 “悲愴”
ピアノ・ソナタ第14番 嬰八短調 作品27-2 “月光”
ピアノ・ソナタ第32番 八短調 作品111

スポーツの秋!

「第20回弘前・白神アップルマラソン」に参加して

青森学習センター 山谷 國廣



アップルマラソン 参加レポート

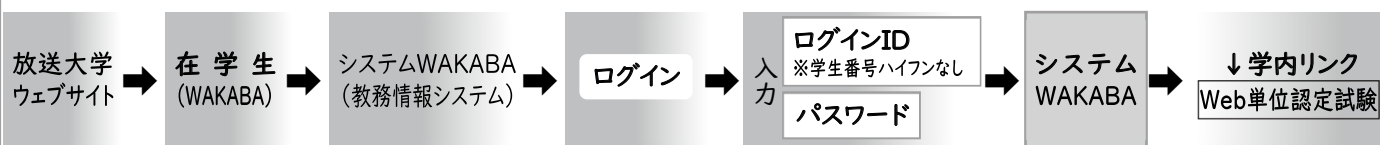
第20回弘前・白神アップルマラソンが10月2日(日)弘前市・西目屋村を舞台に行われました。新型コロナウイルスの影響でランナーが一堂に会しての大会は3年ぶりの開催でした。多くの市民ボランティアの皆さんに支えられて楽しい大会になりました。フルマラソン、10キロ、3キロのコースに全国から2,937人が出走、秋深まる津軽路を小生もラン友と10キロコースにエントリーして走ってまいりました。成績は9位(タイム51分56秒-ネット) / 67人(70歳超)。入賞までは遠い結果でした。放送大学の学びと同様「継続は力なり」(Practice makes Perfect!)と意を強く致しました。来年度も「学び」「走る」を高水準で維持向上出来るよう更なるブラッシュアップをしたいと思います。

2022年度第2学期 単位認定試験のご案内

- 2022年度第2学期単位認定試験は「Web受験方式」、一部科目を「郵送受験方式」で行います。
- 「Web受験できる環境がない・パソコン等電子機器の操作が困難」等の事情により、自宅等でのWeb受験が困難な方は、事前申請をすることにより、「Web受験方式」の科目を学習センター等の会場で受験できます（郵送受験方式の科目は学習センター等での試験実施はありません）。

重要

- ★「Web単位認定試験システム」へアクセスするために、システム WAKABA にログインする必要があります。
単位認定試験期間前までに、システム WAKABA にログインできるかどうか確認をしてください。
(ログインについて入学許可書に記載しています。ログインできない場合、学習センター・サテライトスペースへご連絡ください。)
- ★放送大学ウェブサイト〈<https://www.ouj.ac.jp>〉からシステム WAKABA へログインできます。



- ★受験に使用予定の端末・環境で、単位認定試験期間前にWeb単位認定試験体験版の操作を行ってください。

- 1科目50分の時間制限があります（郵送受験方式の科目を除く）
一度受験を開始すると、制限時間のカウントダウンが始まり、試験画面を閉じてもカウントダウンは止まりません（一時停止不可、1科目1回のみ受験可能です）。
- 科目ごとに「択一式」「記述式」「(択一式と記述式の)併用式」のいずれかの形式で出題されます。「択一式」は選択肢をクリック、「記述式」は入力欄に文字入力し解答します（郵送受験方式の科目を除く）。
解答を入力し、最後に「すべての解答を送信して終了する」ボタンをクリックすることで解答を提出します（または、制限時間経過時点の解答内容が自動提出されます）。

- 12月末に発送される「単位認定試験通知(受験票)」で、受験資格をご確認ください。「単位認定試験通知(受験票)」には「単位認定試験受験に際しての注意事項」が同封されるので、併せてご確認ください。1月10日(火)までに未着の場合、大学本部にご連絡ください（総合受付▶043-276-5111）。

Web受験方式の科目 → 自宅等で受験する場合

自宅等から、インターネットを通じて「Web単位認定試験システム」にアクセスし、問題閲覧・解答提出を行います。

- **試験期間【1月17日(火)9時～1月25日(水)17時】の都合の良い日時に、システム WAKABA の画面右側「学内リンク」から「Web単位認定試験システム」にアクセスし、受験してください。**

Web受験方式の科目 → 学習センター等で受験する方【事前申請済みの方対象】

- 「**授業科目案内**」および**システム WAKABA に記載の試験日・時限**に来所し、学習センター等のパソコンをご自身で操作して、Web受験を行います。**試験期間前に、ご自身の試験日・時限をご確認ください**（1/25の7～8時限の科目は日程調整を行います）。
- 試験を開始する前までは職員がパソコン操作をサポートできますが、**試験開始後は、ご自身でパソコン操作をしていただきます。職員はサポートできませんのでご了承ください。**
- 「**択一式**」問題は選択肢をクリック、「**記述式**」問題は解答用紙への記入により解答、「**併用式**」問題は、択一式は選択肢をクリックし、記述式は解答用紙への記入により解答します。

郵送受験方式の科目

対象科目 正多面体と素数 ('21) 日本美術史の近代とその外部 ('18) 量子化学 ('19)

- **提出期間【1月17日(火)～1月25日(水)必着】**に自宅等で受験し、解答を提出します。● 試験時間の制限はありません。● 12月末ごろ大学本部から送られる問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて、郵送で解答を提出します。詳細は問題用紙等に同封します。1月10日(火)までに未着の場合、大学本部にご連絡ください（総合受付▶043-276-5111）。

2022年度第2学期 単位認定試験のご案内

学習センター等での受験について 【事前申請済みの方対象】

試験日	<ul style="list-style-type: none"> ●大 学 院…1月17日(火)・18日(水) ●教養学部…1月19日(木)～22日(日)・24日(火)～25日(水) <p>※1/25の7～8時限の科目は日程調整をします。</p>
試験会場	<ul style="list-style-type: none"> ●青森学習センター… 青森学習センター視聴学習室 ●八戸サテライトスペース… 八戸サテライトスペース視聴学習室
座 席	座席指定です。試験会場入口の掲示物を必ず確認してください。
受験の際に必要なもの	<ol style="list-style-type: none"> ① システムWAKABAのログインID・パスワードを、試験室のパソコンに入力できるよう準備してください。 ② 単位認定試験通知(受験票) ③ 学生証 ▶ 学生証の受け取りがまだの方、または有効期限切れの方は、試験前までに必ず所属の学習センター・サテライトスペース窓口にて受け取りを済ませてください。 ④ 持込み許可物品(受験票とともに送付される資料を確認してください。) ⑤ 筆記用具
自習室	<p>「学習センター受験」実施期間中は、下記施設を自習室として開放します(1/23・1/26は閉所日)。利用にあたっては、<u>当日の掲示物を必ず確認してください。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●青森学習センター… 青森学習センター講義室 9:00～18:00 ●八戸サテライトスペース… ユートリー 4階情報室 9:00～17:00
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ●青森学習センター… <u>単位認定試験の際は、公共交通機関をご利用ください。</u> ※単位認定試験期間中(平日)は、弘前大学の駐車場を利用できません。 ●八戸サテライトスペース… 八戸駅前駐車場を3時間以上ご利用の場合は、当日限り有効で500円に割引になる「イベント券」を発行しますので、事務室窓口にお申し出ください。

その他注意事項

- 「Web受験」は、試験期間中24時間受験可能ですが、1月25日(水)17時以降は受験できませんのでご注意ください。
- 解答は必ず受験生本人が作成してください。カンニング、剽窃、身代わり受験、その他試験の秩序を乱す行為等があった場合は、失格や懲戒の対象となります。また、試験問題は著作権法により転載、売買、私的利用以外での複製等が禁止されています。違反した場合は、懲戒の対象となります。
- 大雪・凍結・台風・大雨等による被災、その他不可抗力(大規模な停電等)により、受験に支障が生じた場合は、学習センター・サテライトスペースにご連絡ください。
- 1月17日(火)～25日(水)は、下記施設の利用を停止いたします。**
ご迷惑をおかけいたしますが、あらかじめご了承くださいませよう願いたします。
青森学習センター…「視聴学習室・図書室」 八戸サテライトスペース…「視聴学習室」

結果

2月下旬にシステムWAKABAおよび、大学本部から送付される「成績通知書」によって通知します。

再試験

今学期登録した科目で、単位を修得できなかった場合は、次の学期に在籍している場合に限り(休学中を除く)、科目登録をしなくても再試験を受験できます(再試験に係る授業料等はかかりません)。今学期で在学期間が終了する方は、出願期間に次の学期の入学出願を行い、学籍を継続してください(この場合、他に受講希望科目がなければ、出願時の学費は入学料のみとなります)。

- その他ご不明な点がございましたら学習センター・サテライトスペースにご連絡ください●

2023年度第1学期 面接授業について

面接授業とは

「面接授業（スクーリング）」は、学習センター等で他の学生と一緒に教員から直接指導を受けます。幅広い学問分野で、授業形態は通常の講義形式のほか、実験やフィールドワーク等多彩な形態で開講しています。

- 1科目1単位で、授業料は5,500円です。
※放送授業は1科目2単位
- 全8回（90分×7回+45分×1回）の授業を受講し、成績評価は試験、レポート等により行われます。
- 全科履修生は、卒業要件として面接授業又はオンライン授業を20単位以上修得する必要があります。
- 選科履修生・科目履修生も履修が可能です。
- 全国で約8割の科目が土・日に開講されています。



科在 目学 登生 録の

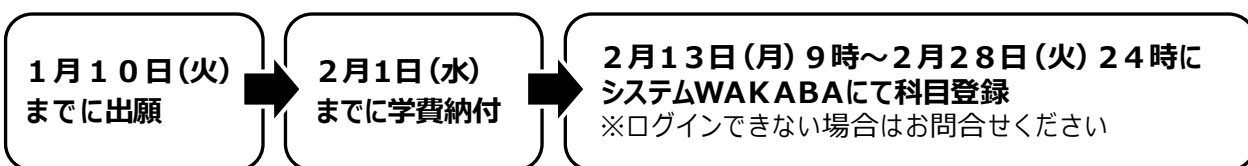
在学生の方は、下記の期間に放送授業・オンライン授業とともに科目登録申請を行ってください。なお、在学生には1月中旬に「科目登録申請要項」が送付されます。

- 「科目登録申請票」による申請期間 …2月13日(月)～2月27日(月) 私書箱必着
- システムWAKABAによる申請期間 …2月13日(月) 9時～2月28日(火) 24時

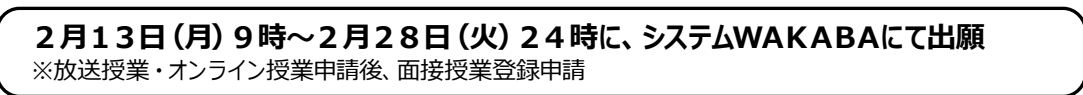
入学学期当初から面接授業の登録申請をする場合は、下記の手続きにて申請できます。全科履修生、選科履修生、科目履修生のすべての学生種の方が登録できますが、下記のように入学の区分により手続き方法が異なります。詳細は「学生募集要項」にてご確認ください。

入 学 学 期 当 初 か ら の 科 目 登 録

- ◆ 新規入学の方
- ◆ 再入学の方（過去に在籍または卒業したことがあるが、2022年度第2学期に学籍のない方）



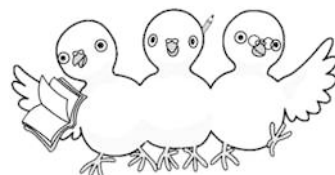
- ◆ 継続入学の方（2022年度第2学期に学籍があり、継続して入学される方）



科目登録決定後に、さらに定員に余裕がある科目については、追加登録を受け付けます。科目登録申請期間中に登録できなかった方や、学期途中で履修科目を追加したい方は、ぜひご利用ください。詳細は、3月中旬～下旬頃に案内チラシ送付にてお知らせします。

追 加 登 録

- 空席発表日…4月15日(土) 12時
- 事前申請期間…4月15日(土) 12時～4月19日(水)
- 先着申請期間…4月20日(木)～各科目の受付期限まで



2023年度第1学期 面接授業開設科目一覧

	科目区分	科目コード	クラスコード	科目名 (担当講師)	会場	日程	定員
青森学習センター	導入科目： 生活と福祉	2613573	K	性の多様性と偏見・差別★ (山下 梓 先生)	青森 学習センター	4月22日(土)1～4時限 4月23日(日)1～4時限	15
	導入科目： 人間と文化	2613590	K	ギリシア神話における神と人間★ (今井 正浩 先生)	青森県観光物産館 アスパム内会議室	5月 6日(土)1～4時限 5月 7日(日)1～4時限	20
	専門科目： 心理と教育	2613409	K	心理学実験 3 (平岡 恭一 先生)	青森 学習センター	5月27日(土)1～4時限 5月28日(日)1～4時限	16
	専門科目： 生活と福祉	2613611	K	明日の健康と予防への取り組み方 (漆畑 俊哉 先生)	青森県観光物産館 アスパム内会議室	6月 3日(土)1～4時限 6月 4日(日)1～4時限	20
	導入科目： 人間と文化	2613603	K	近代青森のあゆみとくらし★ (北原 かな子 先生)	青森 学習センター	6月10日(土)1～4時限 6月11日(日)1～4時限	15
	専門科目： 社会と産業	2613620	K	戦争と平和—その法と歴史★ (小野 昇平 先生)	青森 学習センター	6月17日(土)1～4時限 6月18日(日)1～4時限	15
	専門科目： 人間と文化	2613638	K	発掘が語る縄文文化 (小笠原 雅行 先生)	三内丸山遺跡縄文 時遊館・さんまる ミュージアム	6月17日(土)1～4時限 6月18日(日)1～4時限	12
	専門科目： 情報	2613646	K	技術変革と私たちの生活★ (葉田 善章 先生)	青森 学習センター	6月24日(土)1～4時限 6月25日(日)1～4時限	15
	導入科目： 社会と産業	2613581	K	政治学の基礎★ (蒔田 純 先生)	青森 学習センター	7月 1日(土)1～4時限 7月 2日(日)1～4時限	15
	専門科目： 自然と環境	2613654	K	白神学—白神の動物と植物 (中村 剛之 先生、山岸 洋貴 先生)	弘前大学 白神自然観察園 ※7月8日2時限目までは 青森学習センター	7月 8日(土)1～4時限 7月 9日(日)1～4時限	15
八戸サテライトスペース	導入科目： 生活と福祉	2613670	Q	地域における子育て支援の現状 (藤邊 祐子 先生)	ユートリー 5階視聴覚室	4月22日(土)1～4時限 4月23日(日)1～4時限	20
	基礎科目： 外国語	2613662	Q	やさしい韓国語と韓国文化 (崔 桓碩 先生)	ユートリー 5階視聴覚室	5月20日(土)1～4時限 5月21日(日)1～4時限	20
	専門科目： 心理と教育	2613360	Q	心理学実験 1 (金地 美知彦 先生、山本 雄大 先生)	ユートリー 5階視聴覚室	5月27日(土)1～4時限 5月28日(日)1～4時限	20
	導入科目： 生活と福祉	2613689	Q	高齢者の健やかな暮らしを考える (溝江 弓恵 先生)	ユートリー 5階視聴覚室	6月 3日(土)1～4時限 6月 4日(日)1～4時限	20
	専門科目： 自然と環境	2613700	Q	環境問題に対する化け学の役割 (小林 正樹 先生)	ユートリー 5階視聴覚室	6月10日(土)1～4時限 6月11日(日)1～4時限	20
	専門科目： 自然と環境	2613719	Q	環境と生物—種差海岸で考える— (田中 義幸 先生)	三陸復興国立公園 種差海岸インフォーメ ーションセンター内	6月17日(土)1～4時限 6月18日(日)1～4時限	15
	導入科目： 人間と文化	2613697	Q	コミュニケーション学入門 (大橋 理枝 先生)	ユートリー 5階視聴覚室	6月24日(土)1～4時限 6月25日(日)1～4時限	20
	専門科目： 自然と環境	2613727	Q	ものの表面の科学 (川本 清 先生)	ユートリー 5階視聴覚室	7月 8日(土)1～4時限 7月 9日(日)1～4時限	20

★不測の事態発生時は Web (Zoom) 授業で開講する科目です

次学期へむけての手続き

重要

2023年度第1学期単位認定試験は「Web試験」にて実施します。
詳細は、2023年度第1学期授業科目案内冊子(P.12~13)をご覧ください。

次学期も学籍が続く方

科目登録申請が必要です。1月中旬に大学本部より送付予定の「科目登録申請要項」等を参照のうえ、科目登録申請を行ってください。①WEB(システムWAKABA)または②郵送のどちらか一つの方法で申請してください。

- 申請期間 ①WEB…2月13日(月)9時~2月28日(火)24時
②郵送…2月13日(月)~2月27日(月)私書箱必着

※2月下旬に発送される成績通知の到着を待って科目登録申請を郵送すると、申請期間内に到着しない恐れがあるため、システムWAKABAで成績を確認のうえ、システムWAKABAから科目登録申請を行うことをおすすめします。
※学部生は、放送授業・オンライン授業のほか、面接授業の科目登録もあわせて行ってください。
※単位認定試験は試験期間中であればいつでも自宅等から受験できますが、登録システムの設計上、「授業科目案内」に記載の試験日・時限が同一の科目を重複して登録することはできません。
※科目登録申請開始の8日前になっても「科目登録申請要項」等が届かない場合は、大学本部へお問い合わせください。電話▶043-276-5111(学生サポートセンター)
※全科履修生が、科目登録申請および授業料納入を4学期間(2年間)続けて行わない場合は除籍となります。現在3学期間にわたって科目登録をしていない方は、この期間にぜひ科目登録をされることをおすすめします。

3月末で学籍が切れる方

継続入学出願が必要です。①WEB(システムWAKABAログイン→教務情報→継続入学申請)または②郵送のどちらか一つの方法にて出願してください。

- 出願期間 ①WEB…11月26日(土)9時~3月14日(火)17時
②郵送…11月26日(土)~3月14日(火)私書箱必着



※WEB出願の場合も、証明書類は3月14日(火)私書箱必着

※集団入学または共済組合を利用して入学した方および自主退学者には、継続入学関連書類は送付されませんので、出願される方は「学生募集要項」を入手のうえ出願してください。

なお、下記にあたる場合は、出願方法や出願時期にご注意ください。

(A) 入学学期当初から面接授業の登録申請を希望する場合

必ず2月13日(月)9時~2月28日(火)24時(科目登録申請期間)に「システムWAKABA→教務情報→継続入学申請」より出願し、放送授業かオンライン授業の登録をして、面接授業を登録してください。郵送による出願や、上記期間外に出願した場合は、学期当初からの面接授業の登録ができません。

(B) 2022年度第2学期に登録した科目の通信指導再提出・再試験のみを次学期に希望する場合

出願票裏面「科目登録欄」の設問欄(桃色)の回答を「はい」として○を記入し、科目コード・科目名等は空白のまま出願してください。その場合は、入学料のみ必要となり、授業料は不要です。2022年度第2学期単位認定試験に合格した場合は、この出願は無効となります。

(C) 過去に全科履修生として在籍したことのない選科・科目履修生が、全科履修生として入学希望の場合

システムWAKABAから、または「学生募集要項」を取り寄せたうえで「全科履修生出願票」にて出願してください。入学資格を証明するための証明書類などの提出が必要となります。

卒業見込の方

今学期履修中の科目の成績によって卒業が確定する方は、出願を希望する場合、成績確定後に出願を行ってください。2022年度第2学期の成績通知は、2月下旬を予定しております。

※入学学期当初より面接授業の科目登録を希望する場合は、システムWAKABAで成績を確認し、必ず2/13(月)~2/28(火)に「システムWAKABA→教務情報→継続入学申請」より出願し、放送授業かオンライン授業の登録をして、面接授業を登録してください。
※全国の卒業生合同の学位記授与式につきましては、大学本部の発表をご確認ください。



1月・2月・3月・4月のスケジュール

閉所日
 面接授業
 単位認定試験

利用停止期間
 新型コロナウイルス感染症の状況により、急なスケジュール変更をする場合があります。青森学習センターウェブサイトでお知らせいたします。

	月	火	水	木	金	土	日
1月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

1月	
4日(水)	臨時閉所日 ※青森・八戸
17日(火)～25日(水)	2022年度第2学期単位認定試験 Web受験
26日(木)	臨時閉所日 ※青森・八戸
面接授業	7～8日「上京、Uターン、観光の人類学」(青森) 「データ科学入門」(八戸)

	月	火	水	木	金	土	日
2月			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28					

2月	
13日(月)	2023年度第1学期科目登録申請 開始
27日(月)	2023年度第1学期科目登録申請 《郵送締切》
28日(火)	2023年度第1学期科目登録申請 《Web 締切》 2023年度第1学期 第1回出願締切 (教養学部、大学院修士選科生・修士科目生)

	月	火	水	木	金	土	日
3月			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

3月	
1日(水)	2023年度第1学期 第2回出願受付開始 《～3/14》 (教養学部、大学院修士選科生・修士科目生)
14日(火)	2023年度第1学期 第2回出願締切 (教養学部、大学院修士選科生・修士科目生)
24日(金)～31日(金)	図書室・視聴学習室の利用停止

	月	火	水	木	金	土	日
4月						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30

4月	
8日(土)	2022年度第2学期学位記授与式・ 2023年度第1学期入学者のつどい(青森)
9日(日)	2022年度第2学期学位記授与式・ 2023年度第1学期入学者のつどい(八戸)
15日(土)	2023年度第1学期面接授業 【12時】空席発表・追加登録事前申請受付開始 《～4/19》
20日(木)	2023年度第1学期面接授業 追加登録先着申請受付開始 《～各科目の受付期限日》
面接授業	22～23日「性の多様性と偏見・差別」(青森) 「地域における子育て支援の現状」(八戸)

こ あ ん な い

パソコン入門講習

ワード入門!

講師 ● 一條 健司 氏

2月18日(土) 13:00～16:00
会場▶ユートリー 4階研修室

2月19日(日) 13:00～16:00
会場▶青森学習センター講義室

★詳細はチラシをご覧ください

★自動車入構規制日★

1月14日(土)～15日(日)

大学入学共通テスト実施のため、弘前大学の駐車場を利用することができません。青森学習センターへお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。また、入構時には学生証の呈示を求められる場合がありますので、必ずお持ちください。

★新学期準備に伴う利用停止期間★

3月24日(金)～31日(金)

新学期準備のため上記の期間は、図書室・視聴学習室の利用を停止します。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いたします。



事務室からのお知らせ



★ 利用時間変更のお知らせ 〈2023年度から〉 ★

青森学習センターの図書室と視聴学習室の利用時間が2023年度から変わります

2023年4月～

青森学習センター図書室・視聴学習室◆利用時間 **9:30～17:00**

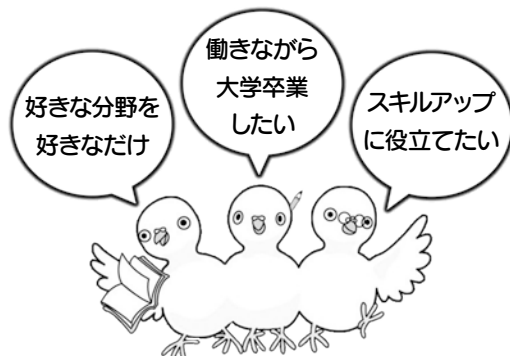
2023年度第1学期入学生募集中 【出願期間: 11/26(土)～3/14(火)】

教養学部生、大学院修士選科・科目生大募集!

ご友人、ご家族・ご親戚、ご同僚など、皆様の周りに「学び」に関心のある方がいましたら、この機会にぜひ放送大学をご紹介ください。

口コミでどんどん学友の輪を広げましょう。もしかしたら、身近なあの方が4月にはともに学ぶ仲間になっているかも…?もちろん、継続入学生も大歓迎です!

資料請求、体験学習・入学相談を随時承っております。お気軽に学習センターまたはサテライトスペースにお問い合わせください。



あなたのまわりに「学びたい人」いませんか?
放送大学でともに学ぼう!

住所変更手続きについて

※「学生生活の栞」教養学部版p87、大学院版p81、「利用の手引き」p18参照

入学後、「現住所」「連絡先の電話番号」に変更があったときは、速やかに『住所等変更届』（「学生生活の栞」巻末に様式あり）を下記宛先へ提出してください。システム WAKABA「教務情報→変更・異動手続」からも届出できます。

なお、「現住所」の変更は、最寄りの郵便局に「転居届」も提出してください。

提出先

教養学部 → 所属の学習センター・サテライトスペース

大学院 → 修士全科生 → 大学本部教務課大学院研究指導係

大学院 → 修士選科・科目生 → 大学本部学生課入学・履修係

通信制大学にとって、郵便は「命綱」のようなものです。変更があった場合は必ず届出を行ってください。

各種証明書の発行について

※「学生生活の栞」または「利用の手引き」にて詳細を必読のうえ申請してください。

「学生生活の栞」巻末様式の『諸証明書交付願』に所要事項を記入のうえ、発行手数料(1通につき200円)を添えてお申込みください。証明書の種類によっては、発行まで2週間程度を要する場合があります。

窓口でのお支払いの際のお願い

つり銭の用意が無い場合、細かい紙幣、小銭をご準備いただくか、事前に支払額のわかる場合は丁度の金額をお持ちください。ご協力をお願い申し上げます。

★郵送での申込方法★

①～③を青森学習センターへ送付してください。

①『諸証明書交付願』 ※学部用、大学院用があります

②発行手数料分の郵便定額小為替証書 ※現金の場合は現金書留をご利用ください

③返信用封筒(長形3号、切手貼付、宛名明記)

※種類・通数により重量が異なりますので、切手は**94円以上**をおすすめします

青森学習センター

〒036-8561 青森県弘前市文京町3 コラボ弘大7階

TEL: 0172-38-0500 FAX: 0172-38-1299 Twitter: @aomoricenter

八戸サテライトスペース

〒039-1102 青森県八戸市一番町1-9-22 ユートリー4階

TEL: 0178-70-1663 FAX: 0178-70-1667

青森学習センターむつ校

〒035-0073 青森県むつ市中央2-3-10 むつ市立図書館内

TEL: 0175-28-3500 FAX: 0175-28-3400 (※視聴・貸出のみ対応)

青森学習センターあおもり校

〒030-0801 青森県青森市新町1-3-7 青森市民図書館内(アウガ8階)

TEL: 017-776-2455 FAX: 017-776-2400 (※視聴・貸出のみ対応)

放送大学ウェブサイト

<https://www.ouj.ac.jp/>

青森学習センターウェブサイト

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/aomori/>

